

すみた 議会だより



No. 182

令和5年
7月14日

「大きくふくらめ！
夢と希望と
シャボン玉！」

《有住保育園》関連記事20P



【特集】

—議会のあり方—その2
住民に身近な議会をめざして！ ②

物価高騰などで論戦
(5議員が一般質問) ⑧

住民と議員との懇談会
町の課題に多様な意見 ⑭

すみた想い人 ⑰

住民に身近な 議会をめざして！

議員定数

全国の町村議会では、投票率の低下、無投票当選の増加など、議員のなり手不足の課題が深刻化しています。

一方で、住民の代表である地方議会・議員の役割と責任はますます高まっており、議員報酬や議員定数をはじめとする議会の根幹に関わる問題を抱え、苦慮しています。

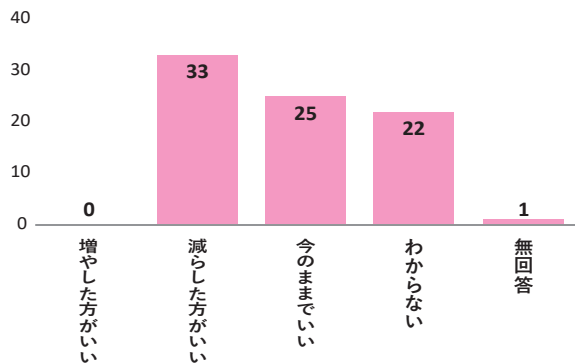
当議会では、「住民と議員との懇談会」において、「議員報酬・定数」に関して、町民のみなさんのご意見を伺うと共に、アンケート調査を実施しました。

議員報酬・定数は新しい議会運営の条件であり、議会運営は住民自治に不可欠なものです。当町の議員定数は平成23年、議員報酬は平成17年の改定以来、現在まで変わっていないことから、みなさんと一緒に考えてみたいと思います。

◆議員定数の推移

年	H7年～	H11年～	H15年～	H19年～	H23年～現在
定数	20人	18人	16人	14人	12人

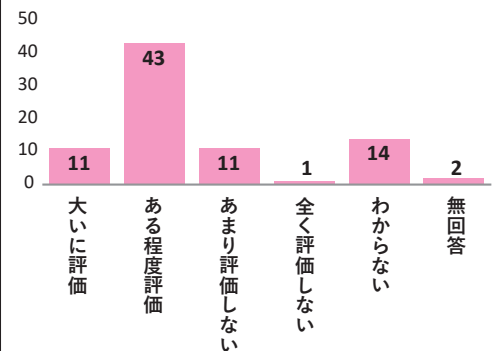
Q2 議員定数についてどう思うか。



寄せられた意見

- 議員定数は減らして10名に**
 - ・定数を減らして、報酬を増額してはどうか。
 - ・人口が減少していることから、類似自治体の動向を見ながら。
 - ・無競争が続いているから。
 - ・今の議員活動が見えない。
- 議員定数は現状維持**
 - ・各地区の代表的存在として町民の為、日々活動を精力的に取り組む議員を期待する。
 - ・人口減少社会の中で、地域や各種団体の意欲のある情熱を持った若手を町政に送りたい。
 - ・子育てや介護など女性特有の課題解決の為にも女性議員がでてほしい。
 - ・若い方や女性も積極的に参加できる、魅力ある議会にしてほしい。
- 議会の対応は・・・現行定数で**
 - ・当町の議員定数は、平成7年から改選期ごとに2名ずつ減らし、平成23年の改定で現在の12名となっています。常任委員会（定数6名）の運営や町民の多様な要望に応える議会として活動するためには、当面現行定数が必要と考えます。今年9月の議会議員選挙は、現行の議員定数で実施することで確認しています。

Q1 現在の議会をどのように評価するか。



議員報酬と定数

議員報酬

寄せられた意見

- 報酬は増額を。月額 20 万～ 30 万円の範囲で他の自治体を参考に
 - ・ 当町の議員報酬は、決して高いとは思わない。議員の職務を全うするためには多大な労力と時間を要する。議員活動の積極性を上げる為には報酬の改善が必要と思う。
 - ・ 意欲の有る情熱を持った若い方も参加できる、魅力ある議会にしていく為にも、報酬の引き上げを願う。
 - ・ 議員のなり手不足の要因にもなっているのではないかと。当町では政務活動費が無く、議員個人として、住民との意見交換などの議員活動は個人負担となっています。仕事に見合った議員報酬であってほしいと思います。
- 現行のまま
 - ・ 町民の所得も上がっているとはいえない。農林業など地場産業の振興と町民所得の向上を図ってほしい。

- 議会への対応・・・特別報酬審議会で
 - ・ 町村議員に対して、どのくらいの報酬を支払うのが適当なのかについての確たる基準はなく、各町村の判断に委ねられており、ばらつきがあります。当町の議員報酬は、平成 17 年の改定以来、現在まで変わっていません。議会としては、町長へ特別報酬審議会の設置と審議を求めています。

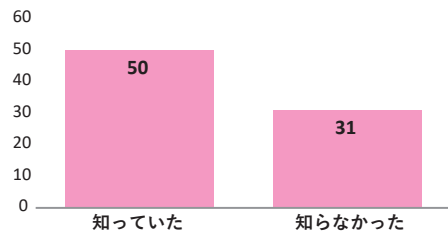
議会・議員に対する意見

- ・ 議員と住民が議論する場がもっとあってもよい。
- ・ 町民の声をもっと広く聞いて欲しい。
- ・ 議員のなり手、町政への関心をもっともらう努力をすべき。
- ・ 住民一人ひとりが元気になるように、議員も元気な活動を期待する。

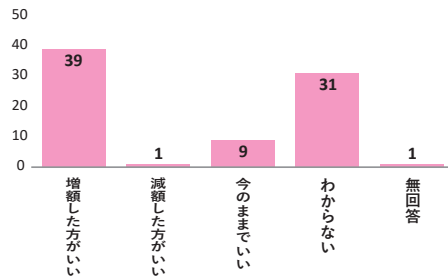
◆ 議員報酬改定の推移

	H7年～	H10年～	H15年～	H17年～現在
議長	248,000円	268,000円	263,000円	258,000円
副議長	198,000円	215,000円	211,000円	207,000円
議員	186,000円	203,000円	199,000円	196,000円
町長(参考)	678,000円	705,000円	690,000円	675,000円

Q3 議員報酬の額を知っているか。



Q4 報酬についてどう思うか。



供託金の納入

- ・ 町長・・・ 50万円
- ・ 町議会議員・・・ 15万円

※ 供託金：無責任な立候補を防止するため、選挙に立候補する者が、納入しなければならない一定の金額。得票数が一定数ないと没収される。

選挙運動用自動車の使用

- ・ 一般運送契約（ハイヤー方式） 上限：1日 64,500円
- ・ 個別契約方式（レンタカー方式）
 - ① 自動車借入契約 上限：1日 15,800円（レンタル）
 - ② 燃料供給契約 上限：1日 7,560円
 - ③ 運転手雇用契約 上限：1日 12,500円

選挙運動用ビラの作成

- ・ 作成枚数上限：町長選挙・・・ 5,000枚
町議会議員選挙・・・ 1,600枚
- ・ 作成単価上限：1枚 7円50銭

選挙運動用ポスターの作成

- ※ 公職選挙法施行令で定める
ポスター作成の企画費上限額：310,500円
- ・ 作成枚数上限：ポスター掲示場の数・・・ 現行では町内57か所
- ・ 作成単価上限：印刷費単価525円6銭× 掲示場所数+310,500円÷ 掲示場所数

選挙公費負担の
種別・公費負担上限額等

地方議員のなり手不足が深刻化していることから、町村の選挙において、立候補の環境を改善するため、公職選挙法の一部を改正する法律が令和3年6月に施行されました。町議会議員及び町長の選挙の公費負担の要件等が定められました。



共に支え合うまちづくり
地域の活性化へ

令和5年度 経済対策

第28回定例会
(6月議会)
あらまし

物価高騰

家庭から事業者まで
幅広く支援
補正予算

すみチケ
2023

第28回定例会（6月議会）は、6月6日から9日までの4日間の会期で開かれ、一般質問には5名の議員が登壇。地域の共生や持続可能なまちづくり、教育環境整備など町政諸課題について議論が交わされました。

本会議では、専決処分の承認、令和5年度一般会計補正予算、条例改正、人事案件など全議案17件を全会一致で可決。請願1件は、不採択となりました。

住民税非課税世帯へ3万円

○電力・ガス・食料品等

価格高騰緊急支援給付金

2100万円

町内に住所がある住民税非課税世帯に1世帯当たり3万円を給付する。

介護事業所へ物価高騰対策

○介護サービス事業所等

物価高騰対策支援金

320万円

介護サービス事業所等に対するエネルギー・食料品価格の高騰分に対して支援する。

新型コロナウイルスによる地域

経済への影響が続いていることから、町内事業者への支援と物価高騰に窮する家計の後押しを行う。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源とし、3394万円を令和5年度一般会計予算に補正計上する。

問 事業の詳細をどのように見込んでいるか。

答 8月中旬以降の利用開始を指して

商工会等との相談を進めている。内容に関しては、予算規模を考慮し、プレミアム率の変更や発行枚数などを検討しながら取り組んでいきたい。

やすらぎと憩いの観光施設

滝観洞受付棟を新築

滝観洞観光センター受付棟新築工事の請負契約を締結する。

持続的な観光振興を目指すため滝観洞周辺の魅力的な環境づくりに取り組む。

●建物の構造と面積

木造2階建て

延べ床面積 155㎡

1階

- ・物販スペース
- ・男子・女子・多目的トイレ
- ・職員スペース
- ・倉庫
- ・エレベーター

2階

- ・食堂スペース
- ・調理室
- ・エレベーター
- ・蕎麦テラス

●落札業者

住田住宅産業(株)

●請負契約金額

1億2320万円



△木のぬくもりに囲まれた癒しとにぎわいあふれる空間をめざした新受付棟の「蕎麦テラス」(完成イメージ図)

人事案件に 同意

【住田町固定資産評価審査委員】



きんの たかし
金野 孝氏
(63才)

下有住字中上(再任)

繰越明許費 2事業

令和4年度内に支出が完了しないと見込まれた2事業を令和5年度へ繰越して使用できるよう議決。

●税外納付書様式変更事業

111万円

●住田町中小企業等エネルギーコスト

節減対策費補助事業 2000万円

低所得子育て給付金など 4件を専決処分

●令和4年度住田町一般会計補正予算

歳入歳出に8565万円を増額。一般会計の総額は50億7980万円となる。

●令和5年度住田町一般会計補正予算

低所得子育て世帯生活支援特別給付金として、175万円を支出計上。※5月26日に支給済み。

●住田町条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う条例改正。

●住田町国民健康保険条例の一部を改正する条例

地方税法施行令等の一部を改正する政令の施行に伴う条例改正。

財産取得

中学校統合に向けて 生徒の通学を確保



スクールバスを導入

次年度

新中学校へ通う

生徒の安全と安心を図る

マイクロバス 2台
(26人乗りパワーヒーター付)

取得予定価格

1696万2960円
(1台あたり848万1480円)

購入先

岩手日野自動車(株)大船渡営業所

ポンプ積載車更新

消防団の士気高揚へ

第5分団第3部(坂本)へ配備

小型動力ポンプ積載車 1台

取得予定価格

1166万円

購入先

(株)古川ポンプ製作所 一関支店



△新たに導入する同系の小型動力ポンプ積載車

条例改正

○住田町税条例の一部を改正する条例

改正理由

地方税法等の一部を改正する法律が施行されるため。令和6年度より、森林環境税の賦課徴収が開始となるため。

○子ども、妊婦及び重度心身障害者医療費給付条例と住田町ひとり親家庭医療費給付条例の一部を改正する条例

改正理由

医療費助成事業において、令和5年8月1日から高校生等までを現物給付の対象へと拡大する。

※改正に伴い、新たに対象となる高校生などは、「子ども医療費受給者証」の提示により、入院・通院時の窓口での支払いが不要となる。

農業委員の

任命に同意

- 任期…7月20日から3年間
- 多田 まり子氏 (69才)
世田米字清水沢 (現)
 - 菅野 良一氏 (73才)
世田米字上城 (現)
 - 吉田 正平氏 (66才)
下有住字新切 (現)
 - 及川 恵美子氏 (52才)
上有住字八日町 (現)
 - 紺野 幸男氏 (73才)
世田米字天風 (現)
 - 及川 良一氏 (71才)
上有住字小松 (現)
 - 村上 秀夫氏 (70才)
世田米字窪田 (現)
 - 松田 秀樹氏 (71才)
上有住字中井 (現)

請願のゆくえ

不採択

マスク着用は個人の判断

請願第1号	マスクの着用による子どもたちへの影響について情報の周知徹底を求める請願
請願者の住所 団体・氏名	岩手県盛岡市高松4丁目18番23号 すみたの子どもたちの未来を守る会 佐々木 公一
紹介議員	水野 正勝
付託常任委員会	総務教民常任委員会 (委員長 高橋 靖)
委員会審査の結果	不採択と決定 (県による「教育現場でのマスクの着用を求めない」旨の通知がなされており、マスクの無い生活も見受けられている。マスク着用については、多種多様な状況があり、個人の判断に委ねられている。)
本会議での採決	賛成少数で不採択と決定

請願採決状況一覧

○:賛成 ×:反対 欠:欠席
議長は採決に加わりません

請 願	水野 正勝	荻原 勝	佐々木 初雄	佐々木 信一	佐々木 春一	村上 薫	阿部 祐一	林崎 幸正	菊池 孝	高橋 靖	菅野 浩正	瀧本 正徳	議決結果
請願第1号 マスクの着用による子どもたちへの影響について情報の周知徹底を求める請願	○	×	×	欠	欠	×	×	×	×	×	×	—	不採択

一般質問

町の考えを問う

5人の議員が質問

物価高騰対策・公民館運営
閉校舎の利活用などで論戦

ページ	質問者 (登壇順)	質問項目
9	おぎわら 萩原 まさる 勝	①行政運営における組織横断的な取り組み ②持続可能な町づくり
10	むらかみ 村上 かおる 薫	①地域共生社会 ②自治公民館への助成 ③閉校の学校施設利活用の方向性 ④対話型人工知能(AI)「チャットGPT」 などへの対応
11	はやしざき 林崎 さちまさ 幸正	①中学校の統合と教育環境整備
12	ささきはるか 佐々木春一	①非核と平和のまちづくり ②物価高騰から町民の暮らしと営業を守る対策 ③農業地利用の集積・集約化の問題
13	みずの 水野 まさかつ 正勝	①新型コロナの総括と今後の対応

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたり、
執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点をた
だします。質問方法は、1回目は一括して質問し
ますが、2回目以降は1問ずつ質問する1問1答方式
を採用しています。持ち時間は、答弁を含めて60分です。

全文記録(議事録)は、役場庁舎2階の総務課と町のホームページ上で閲覧できます。
(QRコードで議会ホームページへ直接進むことができます)

▼QRコード



問 種山ヶ原開発の進捗は

答 各課で課題を洗い出し

問 行政における横の連携（組織横断的な取り組み）のメリットは。

答 町長

関係各課が連携することとは、町民目線でさまざまな角度から意見集約ができ、町民本位の行政が展開できるメリットがある。

答 町長

空き家対策は、所有者情報や専門的知見等が必要であり、空き家バンク

問 空き家対策、新型コロナ対策、DX推進で関係課の横の連携をしているが、その現状は。

等の利活用にもつなげるため、関係課が連携して取り組んでいる。新型コロナ対策では、令和2年2月に町長を本部長、課長等を本部長とする対策本部を設置し、対策に取り組んできた。DXでは、課長級で構成する推進本部を設置し、デジタル化の検討を進めている。

問 関係課の横の連携が重要である種山ヶ原開発だが、その進捗は。

答 町長

種山ヶ原には、森林公園、道の駅、体験交流センター、栗木鉄山跡等があり、担当課が管理している。種山ヶ原周辺施設の今後の方向性を共有するため、関係各課で検討会を開催し、各施設の現状と課題の洗い出しを行っている。各課横断的に協議を進めていきたい。



おぎわら 荻原 まさる 議員

種山の自然や景観、歴史や文化を生かしてより良い開発を。

議員のつぶやき

町の考えを問う

問 持続可能な公民館活動を

答 自治の精神に立ち返って



△ お互いに地域を支え、助け合う自治公民館活動のひとつとして実施されている敬老会

問 自治公民館活動で、役員のなり手不足や人集めなどの課題が出てきている。持続可能な自治公民館活動に向けて、どう考えているか。

答 教育長

行政から依頼され活動を行わなければならないという意識は、活動の継続を困難とし、活動の停滞を招くと考えることから、自治公民館活動の基本である自治の精神に立ち返っての活動が必要と捉えている。

自治公民館活動は共助の仕組みであり、お互い

の助け合いの精神が大事である。負担になるような行事、参加が限られるような行事は地区の方々話し合いで、取り組みを検討していただきたい。

問 班長報償費の復活を。 **答** 町長

班長報償費は、町が当面自立持続を選択した際の「町民の協働参画」の一環で平成24年に廃止した。班は、住民の自主的組織でもあり現在、班長報償費復活の考えはない。 ※その他の質問

高齢者等への交通支援

問 デマンド交通早期実施を

答 路線バスの確保困難時に



むらかみ 村上 議員
かおる 議員

町の考えを問う

公民館によっては、2階に集会所や駐車場不足などの課題がある。地域事情にあった公民館が必要。

議員のつぶやき

問 安らぎと賑わいの調和する「共生のまち住田」を実現するため、高齢者や障がい者を対象にしたタクシー券の配布やデマンド交通を早期に実施すべきと考えるがどうか。

答 町長
身体障害者や知的障害者、精神障害者の方々に対し、等級に応じてタクシー料金の一部を助成する福祉タクシー助成事業を実施している。デマンド交通は、路線バスの確保が困難になった場合に実現していくものであり、ニーズ調査を踏まえ、本町にあった「生活者目線」での運用が検討されていくべきものと捉える。



△過去の患者輸送や学校統合時の条件を見直し、全町での公平を期す時期に来ているコミュニティバス

デマンド型交通とは
利用者の予約に応じる形で、運行経路や運行スケジュールをそれぞれに合わせて運行する地域公共交通のこと。

問 小さな拠点づくりでは、地区公民館主事の役割が大きく、体制が不安定な面もある。人材育成の観点からも職員の地区担当制を再考していくべきと考えるがどうか。

答 副町長
様々な経緯を踏まえて現在の体制に至っている。住民と職員が一緒になって将来の地域を考えていく前提の中で、行政組織改革の一つとして、公民館主事制と地区担当制を比較研究しながら、どのような体制が必要となるのか検討していきたい。

公民館設置補助
空家有効活用も

問 車社会や高齢化時代に合った自治公民館が必要と考える。自治公民館等運営費補助金に係る設置及び維持管理費補助金の「新築及び改築」について、住民の負担を軽減するため、基準経費の40%を50〜60%以内、補助額を1500万円から2000万円に引き上げるべきと考えるがどうか。

答 教育長
地域住民や戸数の減少により、施設の新築や大規模改築等の経済的負担が増加しているものと捉えている。各自治公民館の状況や設置の経緯も様々であることも考慮し、他自治体で取り組まれている空き家住宅や既存建物の有効活用等も併せて検討していく必要があるものと考えている。

対話A1対応は
慎重に検討する

問 対話型A1「チャットGPT」は、働き方を大きく変える可能性を秘めている。町としてどのように対応していく考えか。

答 町長
先行して試験運用を決定した岩手県より利用状況を提供してもらうなど全国の運用自治体における情報収集に努めたい。「個人情報の不適切な収集や誤った情報を学習して拡散するといった危険性が指摘される」との情報もあることから、慎重に検討を進めていきたいと考えている。

※その他の質問
閉校の学校施設利活用の方向性について

問 どう活用有住中跡地

答 教育関連施設として

問 令和6年4月から中学校が1校に統合される。閉校となる有住中学校の建物や土地をどのように活用するのか。

答 教育長

有住中学校者は建築から51年、体育館は50年が経過している。長期間の使用は困難であるし、解体には多額の費用が必要となる。統合後数年間は、教育関連施設としての活用を見込んでいます。

問 当面は世田米中学校の校舎を使うことになるが、将来的にはどのようなことを考えているのか。

答 教育長

世田米中は昭和59年建設、39年が経過している。学校施設として今後10年程度は利用が見込める。その後は生徒数の推移や町内は平坦地が少ないこと、通学範囲が広範囲となることから、慎重な検討が必要である。

問 旧下有住小学校跡地についても活用を図るべきと思うがどうか。

答 教育長

旧下有住小学校の利用計画には、令和2年10月に協働活動組織「下有住いきいき協議会」から、応急仮設住宅中上団地の跡地利用に要望書を受けた経緯がある。旧校舎・校庭を含めた跡地利用の方向性は、地元と引き続き協議を進める。



はやしぎ 林崎 さちまさ 幸正 議員

町の考えを問う

住田高校存続のため、県教育委員会と連携を図るべきだ。

議員のつぶやき

問 住田高校との連携は

答 地域創造学を通して

問 定数割れしている住田高校の存続問題とも関連してくると思われるがどうか。

答 教育長

住田高校とは、町や町教育委員会が連携し、一丸となって住田高校の魅力化の向上を図るよう努めている。各中学校には住田高校の良さを積極的にアピールすることで、入学生の確保を図り、存続に向けて取り組んでいる。



△ 町内の教育機関と地域創造学を通して連携が図られている県立住田高等学校

統合する中学校は町立であり、住田高校は県立であるなど、設置者が異なることから、校舎や校庭等の施設面の利用に関しては困難な点がある。住田高校とは、文部科学省の研究開発学校指定における地域創造学の取り組みを通して連携し、今後とも中学生の進学先として選択される高校となるよう、魅力化向上の支援を継続していきたい。

問 暮らしと営業を守れ

答 プレミアム商品券発行



さ さ き はるかず
佐々木春一 議員

町の考えを問う

問 物価高騰対策で配分される地方創生臨時交付金（電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金）の活用策は。

答 町長
価格高騰緊急支援事業として総額5933万8千円を計上。内訳は、低所得世帯に対し一律に3万円を給付する費用2220万1千円。町内に所在する介護サービス事業所等に対するエネルギー・食料品価格の高騰分に対し支援する費用320万円。小売店や飲食業を中心とした町内事業所への消費喚起と、住民への食料品等の物価高騰対策のため「使って応援住田チケット2023」

問 6月からの家庭向け電気料金値上げによる家計負担の影響は。

答 町長
標準的な家庭の値上げ幅は、東北電力管内で1621円となり、家庭に与える影響は大きい。

問 低所得者・子育て世帯等の生活困難者への支援は。

答 町長
低所得の子育て世帯を対象とする子育て世帯生活支援特別給付金5万円はすでに5月8日付で給付。住民税非課税世帯に3万円を給付する電力・

あの日（1945年8月6日）は、広島に原子爆弾が落とされた日です。核兵器は、核の運動を止めたい。

議員のつぶやき



△ 多くの労力と費用のもと復元された水田

問 医療・介護施設等への支援は。

答 町長
物価高騰対策支援金として介護サービス事業所等に交付する。

問 中小企業等事業者及び農林業者への支援は。

答 町長
将来的な企業体質強化を図ることを目的にエネルギーコスト節減に資する設備更新への補助金を交付。商工会などと連携し普及・啓発に努める。

問 主要7カ国首脳会議（G7サミット）が被爆地・広島で開かれ、原爆資料館への訪問や被爆者との面会も行われ、核廃絶に向けた発信が期待されたが言及はなかった。「非核と平和のまち」を宣言している町の町長として所感は。

答 町長



思いは、町の宣言のとおりであり、国内の非核三原則の厳守はもとより、国外であっても、核の威嚇、ましてや使用は言語道断である。

問 農地の条件整備を

答 目標地図を策定

問 農用地の利用集積や農地あつせんの課題は。

答 農業委員会会長
農業就業者数が減少し、担い手対策は喫緊の課題。農地が点在し、条件の良くない場所や相続の問題などで遊休農地は増加している。

問 農地の有効活用に向けた条件整備は。

答 農業委員会会長
目指すべき農用地利用の目標地図を盛り込んだ地域計画を策定する。

非核と平和のまち宣言

問 新型コロナの影響の総括は

答 経済や地域で多岐にわたる

問 新型コロナによる被害や影響をどのように総括しているのか。

答 町長

町内の発生状況は、昨年9月より公表されていないため、町としては把握できない状況となる。影響については、当初より飲食店や小売業を中心に経済的な煽りをうけ、現在も続いているものと捉えている。高齢者における交流機会の減少や子供たちの運動機会の減少

など様々なところでも作用が生じた。地域の各種行事が実施できなかったことで、これまで培った

答 町長

地域のつながりが保たれなくなってきたりしているなど多岐にわたって影響が出ているものと捉えている。

今回の春開始接種は、重症者を減らすことを目的として高齢者や基礎疾患者を対象に、予防接種法に基づいて実施される。接種対象者への通知の際には、「新型コロナワクチン予防接種についての説明書」を同封している。副反応や予防接種健康被害救済制度などについて記載されており、内容を確認の上で接種の可否を

問 今後のコロナワクチン接種については、治験データや実施した国もないため、慎重な判断をされるよう希望者へ周知すべきと考えるがどうか。

ご判断いただきたい。



まさかつ 正勝 議員
みずの 水野

生活する上でも、ウイルスを避けようとする必要が重要で、マスクの着用や人との接触を減らすことが大切です。

議員のつぶやき

町の考えを問う

問 子供へのマスクに懸念

答 児童と保護者の判断

問 発がん性に関わるDNAがコロナワクチンに混入されていたことをM

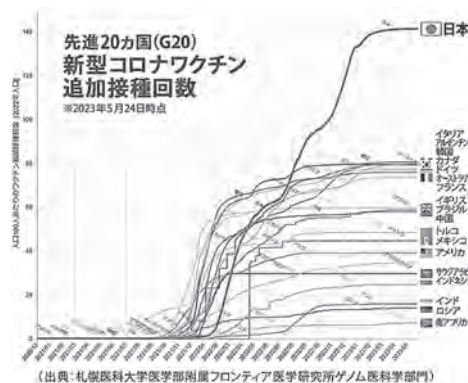
問 空気感染によりウイルスを回避し続けられないため、マスクによる予防としての有効性は無いものと考えます。子どもたちへの影響を考慮し、大人が積極的に外していき

ーTの研究者が解明し、国内の研究者らが公表した。「コロナワクチンは有害で全く効果がない」と断言もしている。全面中止とするよう国へ働きかけるべきと考えるが。

答 教育長

答 町長
情報については承知しているが、国の調査や結果は公表されていない。コロナワクチン接種は、予防接種法に基づいて実施されており、有効性や安全性は確保されているものと捉えている。

県教育委員会より「教育現場では、マスクの着用を求めないことが基本となる」と通知をうけた。マスク着用は、児童・生徒と保護者による判断をしていただいている。教育現場では、登下校などの場面に応じて着脱をす



△ アメリカや中国など先進20カ国のうち、日本は一番のコロナワクチンの追加接種回数となっている。(令和5年5月24日時点)

議会では、自治公民館と共催で「住民と議員との懇談会」を開催しています。今回は、令和5年4月20日から5月13日まで、町内9会場での開催となりました。参加された住民の方々からは、さまざまなご質問・ご意見・ご要望をいただきました。その主な項目についてお知らせいたします。



△川幅が狭まってきた新切川

災害防止に河川改修

◇想定外の災害が多い。新切川や桧山川の護岸工事や河道掘削による対策を。

との懇談会

多様な意見 92人参加～

危険空き家の解消

- ◇空き家対策は、危険空き家になる前の予防的な手立てが大事。
- ◇こざっぱり条例が、空き家対策に生かされていない。
- ◇移住者への農地付き空き家の提供に取り組んではどうか。

◇サルやシカ、イノシシなどの抜本的な被害対策を。



△鳥獣被害対策に取り組む猟友会

サルの農作物被害

◇消防団員のなり手不足が深刻である。確保対策を。



△消火活動の技術向上を目指す操法協議会

消防団の団員確保



△火の土自治公民館では、町道改良などの要望が出た

◇狭小な土地での農業者に対し、小型農業機械にも補助金を出してほしい。



△小規模農家に必要とされている小型農業機械

小型農機に補助を

◇地域創造学の成果が出てきている。さらに子どもたちと地域を結ぶ場を。



△地域住民のさらなる協力が望まれる地域創造学

地域創造学を生かせ

令和5年度 住民と議員 町の課題に ～9会場で

「懇談会」開催状況

開催日	自治公民館	参加者（人）		
		男	女	計
4月20日	新切公民館	5	0	5
4月22日	五葉中自治公民館	7	3	10
4月23日	月山公民館・外館公民館	11	1	12
4月26日	火の土自治公民館	6	3	9
4月27日	坂本自治公民館	7	3	10
5月8日	下在公民館	8	3	11
5月8日	中沢自治公民館	9	3	12
5月9日	両向自治公民館	6	0	6
5月13日	東峰公民館	16	1	17
合計		75	17	92

新型コロナウイルスの影響を受け、約2年半ぶりの開催となりました。

今回参加された方々からのご質問・ご意見・ご要望を議会一体として受け止め、政策立案などの議会活動に生かしていきます。

議会は、今後とも、住民の方々の声を大切にして、町政課題に真摯に向き合い、「共生のまち住田」を目指してまいります。

産業経済常任委員会

4 / 21

(有)グリーン総業
(一関市藤沢町)

本町の林業課題の一つは、再造林です。持続的な森林経営を実現していくためには、伐採後から植林までの円滑な作業移行が重要となります。また、近年多発している大雨による水害などを想定した森林管理や伐採後の処理も求められています。

今回は、伐採から植林までの作業を一貫して請負い、効率的で環境に配慮された林地残材の処理や除根に取り組んでいる有限会社グリーン総業を視察調査してきました。



伐採から植林まで 残材や抜根を残さない

林業の一貫作業体系



環境にやさしい再生資源

残材チップ化で有効活用

グリーン総業では、立木の伐採後に残る未利用材や抜根などの残材を破砕し、チップ化しています。チップ化された破材は、バイオマス発電所の燃料や堆肥として有効活用されています。





6/19

トヨタ自動車東日本(株) 岩手工場(金ヶ崎町西根森山)

西和賀町議会、金ヶ崎町議会、平泉町議会、当議会で構成される県南地区町議会議長会の主催による議員研修会と交流会が約3年ぶりに行われました。研修会では、トヨタ自動車東日本(株)岩手工場を訪問視察。プレスから溶接、塗装、組み立て、検査まで一連の製造工程を見学してきました。



必要なものを、必要なときに、必要な量だけ
トヨタ生産方式を視察

町村議会議員研修会

5/26

岩手県自治会館 (盛岡市山王町)

地方議会の円滑な運営と 地方自治の振興発展を目指して

岩手県町村議会議長会の主催による議員研修会が行われました。県下19の町村議会から派遣された議員が一堂に会し、当議会からは、4名が参加。国の財政状況や議会のあり方などを受講しました。

●派遣された常任委員会

総務教民常任委員会

- ・高橋 靖 議員
- ・菊池 孝 議員
- ・村上 薫 議員
- ・荻原 勝 議員

①「日本財政の現状と課題等」

財務省東北財務局盛岡事務所
所長 大沼 一弘 氏

②「地方議会のデジタル化の意義と課題」

明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科
教授 湯浅 壘道 氏

③「求められる地方議会のあり方」

関東学院大学法学部地域創生学科
教授 牧瀬 稔 氏

追跡レポート⑦9 一般質問その後 どうなりました

あの提言

自分の身体を把握して 生活習慣の改善を

議員が行う質問や提言が、町政にどう反映されているか。これまでの質問の中から一部を取り上げ、その後どうなったか追跡してみました。

質 問

住民への健康づくり施策は

町内事業所が参加した健康セルフサポート事業で得られた成果を住民の健康づくり施策にどう生かしていく考えか。

※体組成データとは

体組成計によって計測される体脂肪率や筋肉量、基礎代謝量、内臓脂肪レベルなどを数値化した物。

答 弁

モデル地区を設定し取り組む

※体組成データの測定をきっかけにして、生活習慣の見直しに努めた参加者の多くで改善が見られた。今後は、モデル地区を設定し、住民を対象にした効果的な健康づくり事業に取り組む。

その後

住民の声



よこさわ いちろう
横澤 一郎 さん
世田米字赤畑

健康面で体重など不安な面もありましたので、健康チャレンジ事業に参加しました。毎日の記帳や運動、体組成の計測を通して自分の体調管理ができるようになりました。

すみた健康チャレンジ事業開始



△身体の脂肪量や筋肉量を定期的に確認して、日頃の健康意識の向上を図る。

すみた想い人 13

町民の皆さんに登場していただく企画になります。町や議会に対しての意見活動を通した「まちづくり」への想いを紹介していきます。



老若男女そろって、世代交流になっている“そばの種播き”

今回は、下有住地区公民館の主事、小さな拠点づくりの事務局として20数年間、地域に溶け込み、親しまれ、絆を深めてこられた松田美代子さんです。公民館には、地域の高齢者や子どもたちの和気あいまいの声が広がります。



まつた みよこ
松田美代子さん
(下有住字中井)

和やかに地域を結ぶ

A 被災者の皆さんがふるさとでの再建ができるまで、この地での暮らしのお手伝いが

Q 東日本大震災では、下有住小学校跡地に応急仮設住宅が建てられ、その運営にも携わってこられましたか。

A 高齢者のふれあいカフェや小学生児童、保育園児が放課後を過ごす場所となっています。地域コミュニティの場として気軽に立ち寄って欲しいと思います。

Q 下有住地区公民館には、いつも地域の方々が見えられ、和やかな雰囲気伝わりますが。

A 小さな拠点づくり活動では、地域活動組織として「下有住いきいき活動協議会」を立ち上げ、多

議会を傍聴しよう!

町議会は誰でも傍聴できます。次の9月議会の予定は下表のとおり。生活改善センター議会棟の入口から案内に従って傍聴席へお入りください。

令和5年6月議会の傍聴者は7人でした。



9月議会は

日	月	火	水	木	金	土
8/27	28	29	30	31	9/1	2
		一般質問			議案審議	
3	4	5	6	7	8	9
	決算審査特別委員会				議案審議	
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

住田テレビ放映もどうぞ

本会議や一般質問の様子は、住田テレビの「議会放送」でもご覧いただけます。放映時間は午後6時からです。



Q 下有住での主な活動内容は。

A 地区公民館としては、高齢者教室と教育振興運動などのお手伝いです。

小さな拠点づくり活動では、地域活動組織として「下有住いきいき活動協議会」を立ち上げ、多

Q 住民交流も盛んに行っていますか。

A 子どもたちのお楽しみ場である「夕涼み会」や新年恒例の「下有住を語る会」など

くの地域の方々の協力と参加で成り立っています。いきいき活動協議会の主な事業は、遊休農地を活かそうと、そば栽培を始めました。収穫後の「手打ちそば」の味は絶品で喜ばれています。

Q 地域としての課題はありますか。

A 下有住小学校跡地を地域と行政の合意のもと、有効な活用方法を望みます。



町内の人たちが賑わう「しもありすマルシェ」



パート
14



わたしの未来

住田町の子どもたちが 将来の夢を語る

コーナーです。
自薦・他薦も大歓迎。申し
込みをお待ちしています。

夢はサッカー選手

僕の将来の夢は**サッカー選手**です。1年生の頃にテレビでネイマールがロングシュートを打つところを見て、自分もシュートを決めたいと思ったからです。ゴールを決めるサッカー選手になるためにシュート練習を頑張っています。



有住小学校6年
おやま ひなた
小山 陽向
(上有住字船作)

感動する演技を

私は将来、**演技に関する仕事**につきたいです。見てくれた人が感動してくれるような演技をしたいと思っています。映画やドラマが好きなので、出演している俳優さんを尊敬しています。私もみんなから尊敬されるような演技力を身につけたいと思います。がんばります。



世田米小学校6年
やなぎた まこ
柳田 真瑚
(世田米字城内)

編集後記

広報編集常任委員会
委員 菅野 浩 正

▼6月定例会は、閉校後の有住中・旧下有住小の空校舎・校庭の利活用等を巡って論戦が交わされました。▼「一人でも多く読み親しまれ、分かりやすく伝える」をモットーに編集作業に携わってきました。▼任期満了という大きな節目を迎え、発行にあたり数多くの皆様にご協力いただきました。町民の皆様をはじめ、ご尽力くださいました議会事務局とスタッフに感謝申し上げます。▼新広報編集常任委員会にご期待いたします。

表紙の写真



有住保育園

初夏の風が心地良い6月。有住保育園では、ひよこ組(1歳児)と、こあら組(2歳児)の子どもたちがシャボン玉遊びの真っ最中。大きく息を吸って、フーっと吹くと沢山のシャボン玉が青空に向かって飛んでいきます。最初は上手に吹けなかった子も、何度も練習していくうちに、大きなシャボン玉が作れるようになりました。夢中になりすぎて、左手に持つシャボン液が、ずーっと零れ落ちているのも、また可愛らしい姿でした。

広報編集常任委員会

発行責任者



議長	瀧本 正 徳
委員長	佐々木 信 一
副委員長	水野 正 勝
委員	菅野 浩 正
	阿部 祐 一
	佐々木 春 一
	荻原 勝